

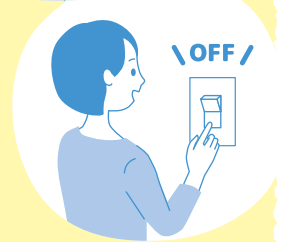
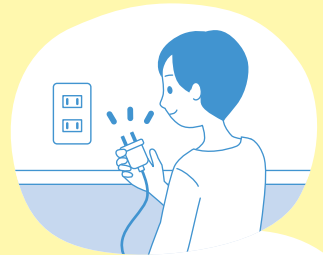
中央区

かん きょう

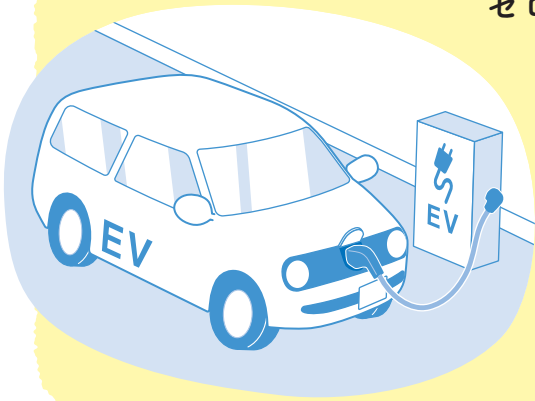
環境 行 言 動 画

2023

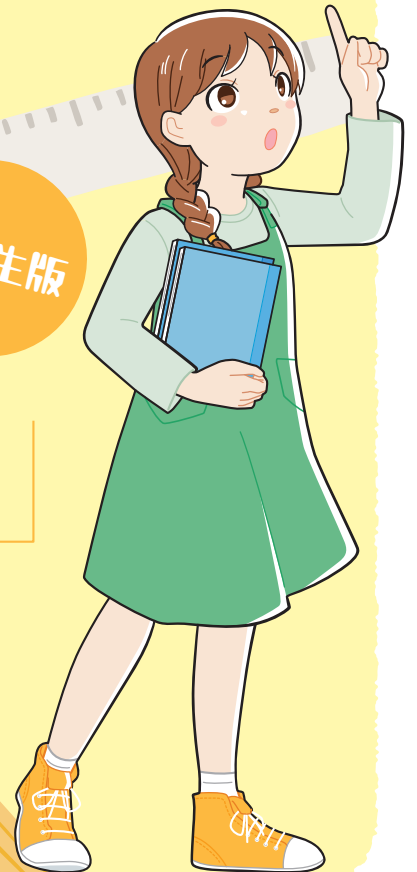
小学生版



水とみどりにかこまれ
地球にやさしく 未来につなぐまち
ゼロカーボンシティ 中央区



中央区

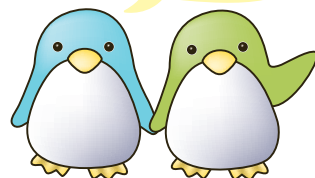


地球環境の状況“今と将来”を考えよう

人間が活動することで地球環境への負担が大きくなっています。
地球温暖化（地球全体の気温が長期的に上昇している現象）
の原因や影響、様々な気候の変化や、生活環境をおびやかす
被害が発生しています。

地球は今どうなっているのでしょうか？ そして将来はどう
なってしまうのでしょうか？

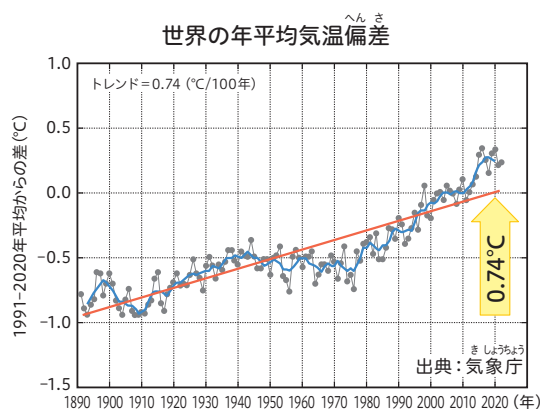
みんなで
一緒に考えよう！



地球の気温が上昇しているよ！

この100年間の気温変化の傾向を見てみると、
世界では0.74℃の割合で上昇しています。

これは、地球温暖化の影響に加えて、アスファルト
やコンクリートによる熱の蓄積や、人が活動すること
によって生まれる熱の増加といった“都市化”の
影響もあります。



海面が上昇しているよ！

●21世紀中に海面が82cmも上昇する?!

地球温暖化で気温が高くなると、南極やグリーンランドをおおう
厚い氷や陸上の氷河が溶け出して海に流れ込み、その結果、海水の
量が増えて海面が上昇しています。

「国際的な政府間組織（IPCC）」からの報告によると、
1901年から2010年の約100年間で海面は19cm上昇していて、このままでは、21世紀中に
海面が最大82cm上昇すると予測しています。



氷が溶けて崩れ落ちる氷河^(*)

●東京や大阪が水没する?!

海抜の低い島国では、潮が満ちると海水が住宅や道路に入り
込んでいところもあります。その結果、作物が育たない、飲み
水が塩水になるなど生活に大きな影響が出てきています。

日本では、1m海面が上昇すると、日本全国の砂浜の9割以
上が失われると予測されており、大阪の北西部から堺市にかけて
の海岸線はほぼ水没します。東京でも、堤防を高くするなどの対策
をとらなければ、江東区、墨田区、江戸川区、葛飾区のほぼ全域が影響を受けます。

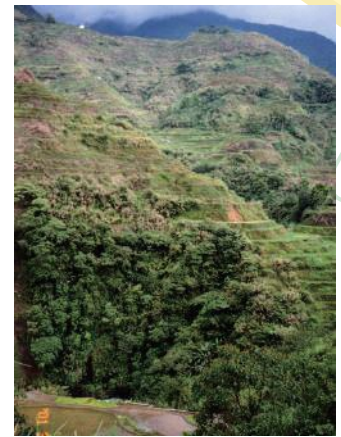


洪水で水没した街^(*)

森林が失われているよ!

森林は世界の陸地面積の約3割を占めています。その森林が、過剰な伐採、高温化による森林火災などにより、毎年減少しています。国連の報告によると、2015年以降毎年失われている森林は約10万km²にも及んでいて、これは、東京都と同じくらいの広さの森が、1週間ごとに失われ続けていることを意味します。

森林は二酸化炭素を吸収する機能を持っています。そのため、森林が減少すると地球温暖化がさらに進んでしまいます。また、多くの動植物の保護、洪水・土砂災害などの防止、木材資源になっているなど、人々の暮らしに欠かせない恵みをもたらしてくれている森林の減少は、人々の生活を奪いかねない深刻な問題でもあります。



木がなくなってしまった山腹^{(*)1}

砂漠化が進んでいるよ!

「砂漠化」とは、もともとは植物が育っていた緑の土地が、植物が育ちにくい土地になってしまうことを言います。

地球温暖化による気候変動によって、干ばつ（長い間、雨が降らないこと）が起きることや、人間がたくさんのお作物を育て、たくさんのお家畜を飼うことなどが原因となっています。砂漠化は現在も進行していて、2015年の国連の報告によれば世界中で毎年264万ヘクタール（岩手県と秋田県を合わせたぐらいの面積）が砂漠化していると言われています。



干ばつにより砂漠化した土地^{(*)1}

絶滅する生きものが増えているよ!

野生生物の「絶滅の危機の高い種」が急激に増えています。地球温暖化による気候変動がその要因となっている種は、現在4,000種以上^{(*)2}あると言われています。

氷河や森林が減少し住むところがなくなったり、食物が採れなくなったりするなど、環境の変化に耐えることができずに滅んでいく生物が増えています。

絶滅が危ぶまれている生物（事例）



ホッキョクグマ^{(*)1}



アオウミガメ^{(*)1}

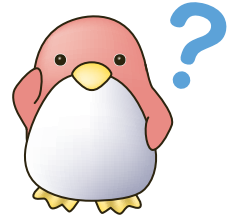


白化したサンゴ^{(*)1}

* 1 画像引用元：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

* 2 出典：世界自然保護基金 (WWF) ジャパン

地球温暖化について知ろう



地球温暖化ってなんだろう？

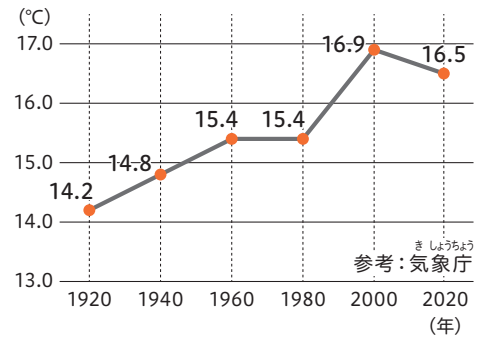
地球温暖化とは、地球全体の気温が長期的に上昇する現象のことです。

“都市化”などほかの影響もありますが、日本においても、過去100年ほどの間に1.3℃上昇しました。私たちの住む東京では2.6℃も上昇しています。

温暖化が進むと、長期的な気候のパターンや平均気温、降水量、風の方向などが変化する“気候変動”をひき起こ

し、氷河や氷雪が溶け海面が上昇する、異常気象や自然災害の発生が増加するなど、世界中の自然や暮らしに影響が出て、さまざまな問題をひき起こしてしまいます。

東京都平均気温



地球温暖化はどのようにして起きているんだろう？

地球は太陽からの熱を受けていて、その熱は地球にある空気や水などによって地球にたくわえられています。この現象を「温室効果」といいます。地球温暖化は、この温室効果が強まることでひき起こされています。

大気中には二酸化炭素 (CO₂) が主となる「温室効果ガス」があり、それが太陽から受けた熱を、適度に吸収したり逃したりすることで、わたしたちが暮らしやすい温度が保たれています。しかし、人間が乗り物を動かしたり、電気をつくったりするために石油や石炭などを燃やして生活するようになって、大気中の温室効果ガスが濃くなってしまいました。その結果、大気中の熱が宇宙に逃げにくくなり、地球が暖かくなってきているのです。

昔の地球



昔の地球

温室効果ガスは、太陽からの熱の一部を宇宙へ放出し、一部を地球にとどめています。昔の地球はガスが適度な濃さだったので、ほどよい気温を保つことができていました。

今の地球

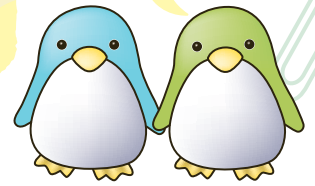
今の地球は温室効果ガスが濃くなったことで、宇宙に出るはずだった熱が地球にこもってしまい、地球全体の気温が上がってしまっています。

おん だん か

温暖化による気候変動

身のまわりの変化、影響を考えよう

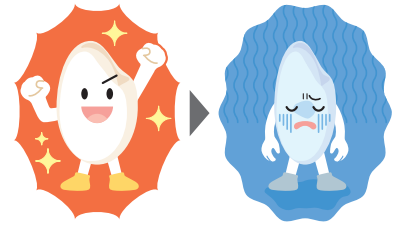
どうなるん
だろう？



毎日食べているお米や野菜はどうなるの？

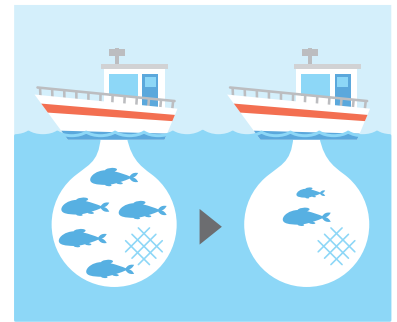
夏の猛暑によって、品質の低いお米（白くにごったり、ひびが入っていたりして、見た目が悪く、味も劣っています）ができてしまうことが起きています。このまま温暖化が進むと、品質の悪いお米が増加することになり、また、収穫量も、北海道や東北地方を除くその他の地域では減少すると考えられています。

野菜も同様で、温暖化が進むことによって、野菜本来の形がくずれ、栄養価が下がるなどして品質が低下しています。



魚や貝が食べられなくなる?!

地球温暖化の影響で海水の温度が上昇することで、魚や貝などの生息条件が変わってしまいます。その結果として、季節や地域で獲れていた魚や貝の種類が変わってしまうことや、漁獲量が減少することも予測されています。また、養殖することが難しくなる可能性もあると言われています。



大型台風や大雨が増えていく?!

大型台風や、線状降水帯（次々に発生する発達した雨雲が列をなした状態）による大雨、またゲリラ豪雨などによって、日本の各地で大きな被害が発生しています。これも海面水温の上昇による地球温暖化が関係しているとみられています。

地球温暖化が進むと、より勢力の強い台風の発生が増加すると考えられています。



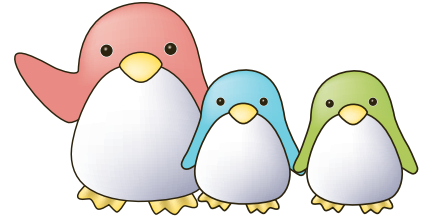
屋外で運動ができない?!

近年、地球温暖化や、ヒートアイランド現象（都市部に熱がたまる現象）の影響により、真夏日・猛暑日が増えてきており、それに伴って熱中症にかかる人が増加しています。

猛暑の影響で、屋外でのクラブ活動や運動競技が制限されるといったことが起きています。



世界の国々が地球の危機を乗り越えようとしています!



地球の危機は、それぞれが自分だけで活動しても解決できません。

世界の人々が同じ方向に向かって力を合わせて取り組んでいく必要があります。

持続可能な開発目標 (SDGs)

人が活動することによって生じる経済、社会、環境の3つの側面の問題に世界の国々が協力して取り組んでいく成長戦略

2015年9月の国連の総会において全世界共通の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が取り決められ、その中で「持続可能な開発目標 (SDGs)」として2030年までの17の目標 (ゴール) が設定されました。

なお、17の目標のうち、少なくとも13が直接的に、残りの4も間接的に環境に関連しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料：国際連合広報センター

パリ協定

先進国、発展途上国の区別なく、すべての国が守るべき 気候変動問題に関する取り決めに定めた

2015年12月に、フランスのパリで開かれた国際会議で、地球温暖化による気候変動問題に関する国際的な“約束”が取り決められました。これを「パリ協定」といいます。

この協定では、気候変動問題の原因となる「温室効果ガス」の排出量の削減に向けて、世界の国々が国ごとに目標を定め、その目標の達成へ向け取り組むことを決めました。今世紀後半には、人の活動による温室効果ガスの排出を、吸収と等しくする（実質ゼロにする）ことを目指しています。この“実質ゼロ”となる状態を「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」と呼んでいます。

日本の取組

日本は2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。これを踏まえ、2030年度の温室効果ガスの削減目標を2013年度比で46%削減すること、さらに、50%の高みへ挑戦を続けていくことが示されました。また、2020年に「地球温暖化対策の推進に関する法律」が変わり、2050年までのカーボンニュートラルの実現が明記されました。

東京都は2019年に、2050年CO₂排出実質ゼロを宣言するとともに「ゼロエミッション東京戦略」を策定しました。そして2021年には、都内の温室効果ガス排出量を2030年までに2000年比で50%削減する「カーボンハーフ」を表明しました。



「ゼロカーボンシティ中央区宣言」
ロゴマーク

中央区では、2050年までに
二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す
「ゼロカーボンシティ中央区宣言」
をしているよ！



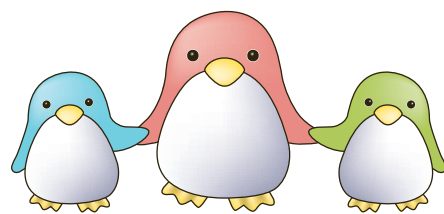
ゼロカーボンシティ中央区宣言

この地球がかつて経験したことのない速さで進む温暖化
海の水が増え、多くの動植物がすみかを失い
自然災害が猛威を振るう
わたしたちは日々のくらしや命さえもおびやかされる危機に
直面しているのです
残された時間は多くありません
今こそ行動をおこすときです
未来ある子どもたちを想い
命あるすべてのものを慈しみ
みどりあふれる豊かな地球を次の世代につなぐため
二〇五〇年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを
中央区は今ここに宣言します

二〇二一年三月三十日

中央区の取組を知ろう

『中央区環境行動計画2023』



計画を作った目的

中央区では、ゼロカーボンの実現に向けた地球温暖化対策をより強力に進めていくとともに、身近な緑や、やすらぎのある暮らしを守るため、「区民・事業者・中央区」が協力し、一人ひとりができることから環境を守る行動をしていくことを目指して環境行動計画を作りました。

地球温暖化をはじめとする環境面の取組は、区民の生活の質の向上や災害対策など経済面・社会面の課題の同時解決につなげていくことが重要です。このように、一つの課題解決の行動により、複数の課題を解決することをコベネフィットといいます。

この計画では、環境面の取組を通じて、経済面の課題の解決にも配慮しています。

望ましい環境像

水とみどりにかこまれ 地球にやさしく
未来につなぐまち ゼロカーボンシティ 中央区

中央区に関わるすべての人々は、清らかな水と豊かな緑に恵まれ、潤いと安らぎを感じることでできる“地球環境にやさしいまち”を、次の世代に引き継いでいく役割を担っています。その役割を継続的に実践するため、望ましい環境像として「水とみどりにかこまれ 地球にやさしく 未来につなぐまち ゼロカーボンシティ 中央区」を掲げました。

『環境行動計画 2023』では中央区の地域特性を踏まえた、望ましい環境像を実現するため、6つの基本目標を定め、区民、会社などの事業者と連携のうえ、各目標の達成に向けた取組を着実に推進していきます。



基本目標 1

脱炭素社会 ～地球にやさしいまちづくり～

目指す姿

区内の温室効果ガス排出量は徐々に減ってきていますが、脱炭素化をさらに早く進めていく必要があります。「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を踏まえ、今後も地球温暖化対策(緩和策*)を続けて行っていき、脱炭素社会を築くことで、2050年までの二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指します。その実現により、脱炭素社会を築き、持続可能な都市を作っていきます。

【*緩和策】地球温暖化が進まないように温室効果ガスを出す量を減らす(緩和)対策のこと。

また、気候変化の影響に備える対策を「適応策」という。

→基本目標2

取組の方向性

再生可能エネルギーの導入や活用を進め、省エネルギー機器の利用拡大を促し、江戸バスの運行改善などにも取り組めます。また、区外においても森林を守る活動を行うなど、他の地方公共団体と協力して取り組んでいきます。

中央区の取組事例



EVスタンド(区役所附属駐車場)



江戸バス

SDGsとの関連性



基本目標 2

気候変動適応社会 ～気候変動の影響を防止・軽減するまちづくり～

目指す姿

今後、猛暑日や集中豪雨が増えていくことが予測されています。このような気候変動の影響から区民や区を訪れる人を守るとともに、集中豪雨などの自然災害に強い都市づくりを進めることで、安全安心で健やかに活動できる環境と災害に強い都市を実現していきます。

取組の方向性

気候変動の影響に対応するため、自然災害に関する情報発信などや、熱中症や感染症対策を行うとともに、雨水の流出を抑え込んだり、緑化推進などの都市づくりに取り組んでいきます。なお、今後力を注ぐべき取組は、長期的視点に立ち、気候変動の影響を注意深く見て状況を把握することと併せて検討していきます。

中央区の取組事例



みはらばし 三原橋街角広場ミストシャワー



水防訓練

SDGsとの関連性



基本目標 3

循環型社会 ～限りある資源を大切にすまちづくり～

目指す姿

今後も都心機能の集中や人口増加が想定され、事業活動の活発化も予測される本区では、区民・会社などの事業者・団体・区が協力することによって限りある資源を大切にすまちづくりを推進し、持続可能な循環型社会の実現を目指していきます。

取組の方向性

3 R * に関する情報を発信し、意識や行動を変えるよう促します。また、フードドライブや食べきり協力店制度を実施し、食品ロスを減らすことでごみの発生を抑えます。また、リサイクル率向上とごみ減量化を図るため、燃やさないごみや粗大ごみの資源化にも引き続き取り組んでいきます。

【* 3 R】 Reduce (リデュース) : ゴミの量を減らす Reuse (リユース) : ゴミにしないで繰り返し使う
Recycle (リサイクル) : もう一度資源として再生して使う

中央区の取組事例



フリーマーケット



清掃リサイクル学習

SDGsとの関連性



基本目標 4

自然共生社会 ～水とみどりにかこまれた豊かなまちづくり～

目指す姿

水面・河川・水路の土地利用比率が23区中で最も高い本区では、街路の緑や公園と水辺空間をつなぐことで、ヒートアイランド現象を緩和し、生き物が住むことのできる自然環境をつくり出すことを目指します。また、魅力的な公園などの整備を進めるとともに、河川・運河沿いに親水空間（水と関わるができる場所や空間）を整備し、人々の憩いや安らぎの場を形作っていきます。

取組の方向性

公園などの緑の拠点と、河川・運河の水辺空間や街路樹などをつなぎ、水とみどりのネットワークを作ります。また、公共施設における屋上・壁面などの緑化を推進し、民間施設において緑化が進むよう取り組みます。

中央区の取組事例



いしかわじま
石川島公園



水生生物調査

SDGsとの関連性



基本目標 5

安全安心な社会 ~安心とやすらぎが実感できるまちづくり~

目指す姿

都内有数の事業所が集まっている本区には、通勤者をはじめとして区外からも多くの人が訪れています。すべての人々が、安全安心を実感しながら滞在できるまち、ならびに世界に誇る美しいまちの実現を目指します。

取組の方向性

安全安心で美しいまちを実現するために、騒音の発生を抑える道路の整備を推進し、また、大気環境を守るためのゼロエミッション・ビークル（ZEV*）の利用拡大などに取り組むとともに、まちのクリーン活動を広めていきます。また、環境調査を行い公表することで、多くの人に結果を知ってもらうようにします。

【*ZEV（ゼブ）】走行時に二酸化炭素などの排出ガスを出さない電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）、プラグインハイブリッド車（PHV）のこと。

中央区の取組事例



自動車騒音調査



クリーンデー

SDGsとの関連性



基本目標 6

学びと行動の輪(わ) ~みんなで環境活動に取り組むまちづくり~

目指す姿

中央区基本構想の基本的な方向性の一つである「多様な絆が融合した『プロアクティブ・コミュニティ*』の確立」に基づき、区環境を守り育てていくために、区民・会社などの事業者・団体・区といった多様な主体が、ともに力を合わせ協力して環境活動に取り組むことで、学びと行動の輪を上げていきます。

【*プロアクティブ・コミュニティ】自ら率先して地域における課題を解決し、快適な暮らしを実現していく社会

取組の方向性

本区で暮らし、活動するすべての人々が、日頃から環境問題を身近なものとして捉えられるよう、環境情報の発信や環境イベントなどの実施を通して環境について学び、交流する機会を作ります。また、省エネルギー活動や3Rの取組などの自主的な環境に配慮した行動を促すとともに、各主体がともに協力して取り組むための機会を作り、またその仕組みづくりを行います。

中央区の取組事例



省エネ講座

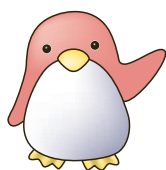


環境学習「檜原村自然体験ツアー」

SDGsとの関連性



自分ができることはなんだろう？



「環境」は色々な“もの・こと”が関わり合って保たれています。まずは自分の身の回りのことから取り組んでみましょう。一人ひとりの行動が、やがて大きな“動き”となって、わたしたちの地球が守られていきます！

～地球にやさしいまちづくり～

- テレビやゲームは、使っていないときは電源を消しましょう。
- エアコンは適切な温度に設定しましょう。



～気候変動の影響を防止・軽減するまちづくり～

- 防災マップや避難所などを確認しましょう。
- 熱中症を防ぐため、こまめに水分を取り、外出時は帽子をかぶりましょう。



～限りある資源を大切にすまちづくり～

- ごみの出し方についてのルールを守りましょう。
- ご飯は、食べきれぬ量を残さずに食べましょう。



～水とみどりにかこまれた豊かなまちづくり～

- 庭やベランダなどの緑化に努めましょう。
- 緑化ボランティア活動に参加しましょう。
- 区内の自然環境に関心をもつとともに、生物多様性への理解を深めましょう。



～安心とやすらぎが実感できるまちづくり～

- 中央区の環境への理解を深めましょう。
- ごみのポイ捨てをしないようにしましょう。
- 清掃活動に参加し、環境美化に努めましょう。
- まわりに住んでいる人たちに迷惑をかけないように、うるさい音を出さないようにしましょう。



～みんなで環境活動に取り組むまちづくり～

- 毎日の生活の中で環境に配慮した行動をしましょう。
- 講演会や講座などの環境イベントに参加しましょう。
- 「檜原村自然体験ツアー」に参加しましょう。
- 自然にふれあう機会を増やしましょう。



中央区環境行動計画 2023 小学生版

「水とみどりにかこまれ 地球にやさしく
未来につなぐまち ゼロカーボンシティ 中央区」

令和5(2023)年6月発行

編集・発行

中央区環境土木部環境課

東京都中央区築地一丁目1番1号 電話 03(3546)5408

刊行物登録番号

5-033



「ゼロカーボンシティ中央区宣言」
ロゴマーク